

ふたばっ子とともに

R5. 3. 6

2 / 2 1 (火)に「予告無し」の避難訓練を行いました。昼休みの後半に「訓練地震発生」の放送を入れました。児童が運動場に避難し、人員確認を行って、出席児童全員の安全を確認しました。その後、各教室に戻った児童に向け、私が放送で話をしました。その内容についてお伝えします。

自分の命を自分で守れる人に

今日は、「予告なし」の避難訓練でした。

あなたは、校内のどこにいましたか。教室にいた人、多目的ホールや廊下にいた人、図書館や体育館、運動場にいた人、中にはトイレにいたという人もいたかもしれませんね。また、一人で過ごしていた人、友達と一緒に活動していた人と、周りに誰かがいたかどうか、様々だったと思います。「おはしも」を意識して、落ち付いて避難行動をとり、自分や友達の命を守ることのできる訓練になりましたか？

もしも突然、大きな地震が来たら、きっとドキドキすると思います。とても怖いと思います。みなさんの中は、2学期に地震体験車で大きな揺れを体感した人がいますね。あれは、友達と一緒にいて、「今から揺れますよ」という予告があってからの体験でした。あの揺れが、突然、たった一人で行動している時に起きたとしたらどうでしょう。先生は、家に一人にいる時に、地震で家が揺れると、ドキドキして一瞬体が動かない感じになるときがあります。

でも、そんな時に、大きな声を出したり、騒いだりしたら、気持ちはもっと落ち着かなくなります。そういう人は、自分の命を落とす可能性が高くなるのです。

今日は、自分で考えて、自分で判断して運動場に避難しました。学校では、放送や先生の指示をしっかりと聞いて行動することが大切です。窓ガラスが割れていたり、物が倒れていたりして、通れない場所もあるかもしれません。地震で放送が使えなくなることもあります。どこへどのように逃げたらよいか…避難の仕方や方向を指示する声がしっかりと聞き取れるように、災害時の無駄話は、絶対にやめましょう。この後、今日の訓練では、黙って行動できたかどうか、それぞれのクラスで振り返ってみてください。

さて、今から27年前、平成7年1月17日の午前5時46分に、阪神・淡路大震災という大変大きな地震が、また、12年前の平成23年3月11日の午後2時46分に、東北大震災という大地震がありました。阪神・淡路大震災では、6千人以上の人々が亡くなり、5万人近くの人々がけがをし、50

万人以上の人が家を無くしてしまいました。現在の浜松市で考えると、10人のうち6人が家を失ったこととなります。みんなのクラスは30人くらいですから、18人…半分以上の人の家が、壊れたり火事で燃えたりしたのです。東北大震災では、地震後に大きな津波が海沿いの街を襲ったため、多くの町が波に飲み込まれて、1万5900人の人が亡くなり、未だに2500人以上の人の行方が分かっていません。

先日も、トルコで大きな地震があり、今(2/21)分かっているだけで5万人近い人が犠牲になっています。改めて、地震の恐ろしさを感じている人もいるのではないのでしょうか。

日本の国では、1日に4回から5回の地震がどこかで起こっています。私たちの暮らす日本は、地震という自然災害とは切り離すことのできない運命をもった国なのです。ですから、いつ起こるかわからないけれども、地震のことをしっかりと知っておく必要があるのです。命を守る訓練もしておく必要があるのです。もしかしたら、今日の下校途中に起きるかもしれません。皆さんが寝ている夜中に起こることだって考えられます。でも、心構えができていれば、訓練をしっかりとすれば、いざという時も、落ち着いて行動できます。これからも「もし、今、ここで地震が起きたら」を、考えていけるといいですね。そうして、いつでもどこでも「自分の命は自分で守る。そのための準備をしっかりとする。」を忘れずに、いざという時の備えをしていきましょう。

遠州灘を震源とした大地震が起きると言われて50年近くになります。(私が小学生の時に、その大地震とそれに伴う津波を想定しての訓練をしました。)

最近耳にする「東南海トラフ地震」は、さらに広い地域で大地震が発生することが予想されています。

訓練の終わりに子供たちへ話したように、私たちの国は、地震という自然災害を避けることができません。だからこそ、いざという時に「自分の命を守る」という意識と行動をきちんと身に付けておかなければならないのです。

もちろん、私たちの生活の中には、地震以外にも私たちの生命に危険がおよぶ事態はたくさん考えられます。ただ、全ての災害や事故等に対しての訓練を、一つ一つ行うことはできません。だからこそ、いつ起こるか分からない地震に対して、真剣な態度で訓練に取り組むことで、「命の大切さ」と「命を守る行動」について深く考える機会とし、それを防災、防犯や交通安全において共通する「自分の命を、自分で守る」という意識につなげていってほしいと考えます。

また、それぞれの御家庭でも、防災、防犯、交通安全について「自分の命を自分で守る」ために必要なことや大切なことを話題にしてみてください。